

実践コミュニティ活動～生産性向上の妙手～(群馬県前橋市)

取組概要

自治体クラウド・印刷BPO

3市(前橋・高崎・伊勢崎)越境事業を実現した源はこれだけ！
始まりは現場の業務担当者が、他の自治体の同じ役割の職員と月に半日、対面で自分の足元の業務改善についてディスカッションすること。自ら主体的に生産性向上の取り組みを始め、想いを共有し共感できる仲間とともに積み重ねると、少々遠く高く見える場所までやがてたどり着ける。それは学習する組織への入口だった

取組の効果

気づいていない思考停止からの脱却

- Hop : 実践で暗黙知を蓄積
- Step : 異なる組織を行き来し形式知として表出
洗練し外部へ移転
- Jump : 学習のサイクルを組織内に獲得

<本質的効果>

- ・市役所全体の業務改善
 - ・住民サービス向上
 - ・組織文化の改革
- に向けた活動における実践的なノウハウとして広く定着(DX推進活動等)

(経済的効果)

自治体クラウド事業(10年間総額) : 3市42.39%減
印刷BPO事業(5年間総額) : 前橋市38.63%減

手を動かして体験・体感

創意・工夫した点

使えるものなら何でも使う

会議しながら皆で付せんと言インペンで模造紙に議事録を書き込み、解散前に全員でふりかえりをして写真撮影、ITSに掲載で成果物納品も庁内報告も完了。

他団体へのアドバイス

ガバクラの次を考える

電話やメールを減らして、北極星指標を目指す事業構想を、自治体の枠を超えて準備する。“ときは今”

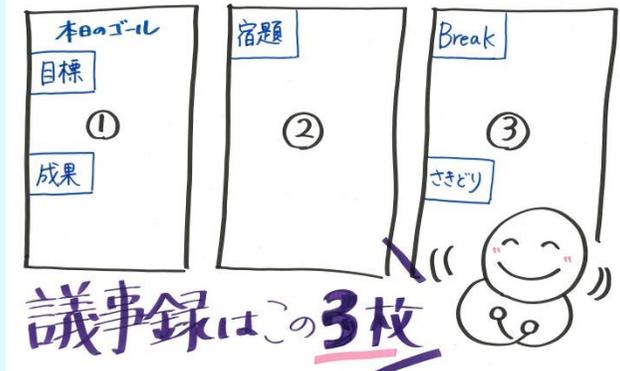
人口329,860人(R6.1.1現在)

担当 未来創造部情報政策課



ITSコミュニケーションルール

対面でのディスカッションルール



ディスカッションルール